

大田区職員9条の会ニュース

第95号 2015年2月19日 編集 大田区職員9条の会事務局
大田区職員労働組合気付

1/29 アーサー・ピナードさんの講演会開かれる

少しずつ、一つ一つ騙されない力を付けていこう



「平和ってなあに？ ～海外から見た日本～」

1月29日大田区職員9条の会主催で「平和ってなあに？ ～海外から見た日本～」と題してアメリカ人の詩人アーサー・ピナードさんの講演会が開かれました。当日は、大田区職員以外の方も含めて約60人が集まり、アーサーさんの軽快な日本語に引き込まれ、聞き入りました。

アーサーさんはアメリカで生まれ育ち、日本に興味を持って日本語を学びに来た方です。講演では、日本語をアメリカ人の視点から考えるとこんな風になるのかと考えさせられることがたくさんありました。アーサーさんは日本語の「原子力発電」の話をしました。これを英語では「nuclear power generation」と言います。核兵器は、「nuclear weapon」ですから、英語ではどちらも「nuclear」＝「核」を使うということです。わたしたちが核兵器と原子力を何か違うもののように思っている理由がここにあったのです。アーサーさんはこのような例を挙げながら「言葉から感じる意味で本質が見えなくなる」と指摘していました。

アメリカの国防総省を「ペテンタゴン」と呼び、「今アメリカは日本を『限度額のないATM』にしようとしている」など、時折ユーモアを交えながら今の日本とアメリカの関係や安倍首相の言動を解き明かす語り口に、参加者は聞き入っていました。

私たち職員9条の会は、改憲に向けた動きが強まる中、講演会の中でアーサーさんが語った「無理をしなくてもいい、少しずつ、一つ一つ騙されない力を付けて」いきたいと思います。

参加者からたくさんの感想が寄せられました。その一部を紹介します。

いや、良かった。何回もいろんなテーマでさらに聞きたいなと思いました。(40代)

とてもためになるお話をありがとうございました。正しいことを「正しい」と言える社会にするためには、ひとりひとりが気付くことが大切なんですよ。私は「気づく人」になりたい。(30代)

日本は平和ボケしている国民性があると改めて感じました。意図的な報道隠しにきちんと気づいて目を向けていかないとと思います。

辺野古の埋め立て、ODAの使用途にも注視していかなければと思います。

大変楽しくユーモアある講演でした。アーサーさんの日本に対する想いがひしひしと伝わってきました。(20代)



沖縄のこと、福島のこと、日本政府のこと、アメリカのこと・・・いろいろな話を聞いて楽しかったし、考えさせられました。「米軍基地建設反対、原発再稼働反対」と思い参加していましたが、どのくらいこのことを知っていたのか？考えていたのか？と考えてしまいました。言葉のごまかしに騙されないよう、自分で考える力をつけていきたいと思いました。とても楽しく、気持ちもスカッとするお話でした。ありがとうございました。(50代)

日本語の発見ができた。言葉の力を教えていただき感謝します。米英語が世界を席巻している状況にいて、ローカルな人民が各地で本丸攻めができるよう力を付けていきたいと思いました。(60代)

安倍総理、ついに憲法「改正」スケジュールに言及！！

安倍総理は、「イスラム国」による邦人2人の人質殺害事件を巡ってテロとの対決を前面に打ち出しています。これに呼応するかのように、自民党の憲法改正推進本部長船田元氏が安倍総理と会い、来年の夏の参議員選挙後に憲法改正の発議を目指すことで総理と認識が一致したと伝えられています。

自民党は現行憲法全面改正案を作成して2012年(平成24年)10月に公表しています。これまでも改憲に向けての様々な動きがありましたが、ついに具体的なスケジュールに言及するようになったのです。そればかりではなく、このスケジュールを前提にして、今国会で改憲内容の論点整理を進めるともしています。

時の権力者にフリーハンドを与えないために、憲法を私たち国民のものとしていく意思と行動が必要です。改憲を目指すことを明言している安倍総理の言動を注視していきましょう。

フクシマを忘れない！ さようなら原発大講演会

日時：2015年3月28日(土) 18:30 開場 19:00 開演
場所：新宿区立新宿文化センター

